

挨拶

北海道大学大学院
医学研究科長・医学部長

笠原 正典
Masanori Kasahara



北海道大学医学部は北海道帝国大学が創設された翌年の大正8年に設置されました。すでに9,000名を超える卒業生が学び舎を後にしております。

医学部医学科では、幅広い知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に貢献できる医師の育成を目指し、医学教養、基礎医学、臨床医学、臨床実習の4コースからなる6年一貫教育を行っています。平成25年度には、カリキュラムを改正し、診療チームの一員として診療業務を分担しながら、医師に必要とされる専門的な知識、思考法、技能を学ぶ診療参加型臨床実習と、研究室に滞在して実験を体験する医学研究演習を強化しました。

大学院医学研究科博士課程は昭和30年に設置されました。平成12年に大学院重点化を果たし、大学院における教育・研究の充実を図りました。その後、平成14年に修士課程を、平成21年にMD-PhDコースを設置し、今日に至っています。博士課程には基盤医学、臨床医学、社会医学の3コースが、修士課程には医学専門、医科学、社会医学の3コースがあり、学生はそれぞれの興味に応じてコースを選択することができます。大学院では、高度な知識と研究能力を備え、社会の要請に応える高い見識を備えた人材を育成するとともに、国際レベルの研究を推進し、知のフロンティアを切り拓き人類の健康と福祉に貢献することを目指しています。

基礎医学や社会医学の領域では、脳やがん、免疫に関する先端的研究や現代社会が直面する諸問題に医学的見地からアプローチするユニークな研究が展開されています。また、臨床医学の分野では、遺伝子工学を応用した新しい医薬品の創製、物理工学理論や技術を用いた先端的診断治療機器の開発、ヒト化マウスモデルや組織・細胞工学を応用した新しい治療法の開発など、世界をリードする研究が行われています。これらの研究は国内外で高く評価され、多くの国家的大型研究プロジェクトが、本研究科を中心に展開されております。

また、平成29年4月には、医学研究科を医学研究院と医学院に改組し、新たに医学系の学院として医理工学院を設置することが正式に決定しました。これを機に、多様化する社会のニーズや新たな課題に対応すべく大学院教育のより一層の充実に努めていく所存です。